

報道各位

日本民間放送連盟賞エンターテインメント番組部門(ラジオ) TOKYO FM「SCHOOL OF LOCK！」が中央審査候補作品に

本年度「日本民間放送連盟賞」の東京地区審査会が本日(7月25日)行われ、TOKYO FMの「SCHOOL OF LOCK！」が、エンターテインメント番組部門(ラジオ)・東京地区参加エントリー5作品の中から、中央審査候補作品として選出されました。中央審査の結果は、8月末に開催される審査会で審査され、9月18日開催予定の民放連理事会の承認を経て決定されます。

日本民間放送連盟賞(連盟賞、英文名:NAB Awards)は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、社団法人日本民間放送連盟が1953年に創設した賞です。民放連の会員である全国の民放各社から参加のあった番組・事績を対象に毎年1回実施し、優れた番組、優秀と認められた事績を顕彰しています。表彰は、毎年秋に開催する「民間放送全国大会」の式典席上で行われます。

<中央審査候補作品紹介>

- タイトル：SCHOOL OF LOCK！
- 放送日時：2008年3月4日(火) 22:00～23:55
- 出演者：やましげ校長、やしろ教頭、くるり、
浜松海の星高等学校 吹奏学部のみなさん
- チーフプロデューサー：森田太(TOKYO FM)
- プロデューサー：宮野潤一(TOKYO FM)
- ディレクター：横川涼(フリー)
- 作品内容：

SCHOOL OF LOCK！今年の卒業ライブプロジェクト「MY GENERATION」に名乗りを上げてくれたアーティストは、ロックバンドの「くるり」。くるりの二人からの「僕らと一緒に演奏して、卒業生を送り出そう！」という呼びかけに、多数の応募の中から、浜松海の星高等学校の吹奏学部が選ばれた。課題曲であるくるりの名曲「ブレーメン」。このたった1曲のために、くるりは夜な夜な吹奏楽部と数日間に及ぶ特訓合宿に臨み、日毎にアーティストと部員という垣根を越えた交流が生まれてきた。卒業生を送る会当日の大演奏会の模様、そしてくるりと吹奏楽部員の出会いと別れが交錯する“もうひとつの卒業”が繰り広げられる。